

ゴスペルコンサート

爽やかに晴れた五月二十一日の日曜日、ウィスタリアーズによるゴスペルコンサートが開催されました。

久しぶりの行事開催という事で、ご利用者様の反応を思い浮かべ担当職員は準備段階からワクワクしていました。ウィスタリアーズのみなさんと一緒に歌う曲は、『花』『翼をください』『夜空の星に願いを』でした。楽しみにされていた



ご利用者の皆様が、早々に食堂に集まられ席につかれたので

『花』を練習し準備万端でウィスタリアーズの皆さんを心待ちにしておりました。

ゴスペルコンサートが始まると、手拍子をする方、目を閉じ聴き入る方、英語の曲と一緒に口ずさむ方、みなさん思いの時間を過ごされていました。練習

した曲もウィスタリアーズの皆さんの歌声と素敵なハーモニーを奏でていました。ご利用者様から「よかったよ」「またやってね」「楽しかったわよ」と感想をいただき、笑顔と明るい歌声に包まれた思い出の一日になりました。

敬老の日 ～行事食～

ご入所の皆様には九月十七日、通所をご利用の皆様には九月十八日に、日ごろ



の感謝と長寿のお祝いの気持ちを込めて、栄養課よりお祝い膳を提供させていただきました。

お食事の内容は・お赤飯・カレイの黄身焼き・炊き合わせ・ほうれん草の胡桃和え・清まし汁・メロンです。

カレイは身が軟らかくとても食べやすい魚です。黄身焼きで、よりしっかりと仕上げました。炊き合わせは華やかな色合いで、豪華なフルーツが付いて食欲がそそられます。

いつもとは違う雰囲気のお食事を見て、「わあ、今日は何の日?」と「馳走ね!」「とってもおいしかった、ありがとう。」といった嬉しいお言葉をいただきました。



# リハビリ通信

介護保険を使った理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が行うリハビリテーションには通所リハビリの他に訪問リハビリテーションがあります。今回は訪問リハビリテーションについてお話しをしていきます。

訪問リハビリテーション（以下、訪問リハ）は、一番の特徴はご利用者様の実際の生活の場にお伺いして、実際の生活場面に即したりリハビリを行うことです。また、自宅から外へ出掛けることが難しい場合にも自宅でリハビリが行うことが出来ます。

ケアマネや訪問介護等の関連職種と積極的に連携を図りながら、ご利用者様が安心、安全にその人らしい在宅生活が継続できるように支援しています。

では、実際に訪問リハはどのような流れで行っているかというと、まずはリハビリを実施する上で、ご利用者様の状態の確認が必要です。体温、脈拍、呼吸、血圧測定、病気や精神面の健康状態の確認と助言、大切な



は、介助者が健康でなければ負担が大きくなってしまいますので、ご家族様の健康状態の確認や助言を行います。

体調に問題がなければ、ご利用者様に必要な運動、痛みの確認、日常生活、動作の指導・助言、生活環境の設定、相談などを行います。自宅内で必要な福祉用具または補装具、住宅改修の評価と相談



も行いう事が出来ます。例えば、足が弱くなってきて、トイレまでの移動が大変になってきているという相談があれば、実際に動作を見ながらどこに手すりを付けた方がよいかなど具体的にアドバイスをすることが出来ます。

その他、言語聴覚士による食事時のむせ込みなどに対する食事の形態やコミュニケーション機能の改善に対してのアプローチをすることもあります。

ご家族が実際に行っている介助方法などを見て頂きながら、身体への負担が少なく行える介助の仕方やご利用者様が自宅でも出来る自主トレのアドバイスなども行います。

ピースプラザでは、主に、医師の指示のもと、長期入所していた方を対象に退所後、自宅で安

心して生活が送れるように、訪問リハビリを行っています。ぜひご利用ください。

## 編集後記

読書の秋・スポーツの秋・食欲の秋、皆さんはどの秋を堪能されていますか。

春に開催したゴスペルコンサートを載せましたので、様子を見ていただければと思います。これからも色々な情報を掲載していきますので、次号も暖かく見守っていただけると嬉しく思います。

「行事企画委員」

## 医) 清新会 ピースプラザ

- 介護老人保健施設
- 居宅介護支援事業所
- 通所リハビリテーション
- 府中市地域包括支援センターかたまち
- 府中市地域包括支援センターみなみ町

〒183-0021  
府中市片町2-16-1  
電話 042-336-5775 (代表)